

.....  
午前11時40分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。

次に、6番議員の一般質問を許します。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 6番、通告に従いまして一般質問をいたします。

はじめに、持続可能なまちづくりについてお尋ねいたします。

堀内町政誕生から間もなく折り返しを迎えようとしております。町長という激務を淡々とこなしている若さには感服いたしております。

平成の大合併において2町村が合併し、持続可能なまちづくりを掲げ、今日を迎えております。人口減少が進む中、広域の事業負担、町施設の維持管理等々、町の財政の状況は一層の厳しさを増すものと考えます。

その中において、持続可能なまちづくりに向けての将来像をどのように思い描いているのか。どう堀内カラーを打ち出していくのか尋ねるものであります。

次に、産業振興についてお尋ねいたします。

昨年の大雨被害、大変な状況でありました。河川や護岸決壊など、農地の復旧には相当の時間を要する災害であります。その後の復興工事はどの程度進んでいるのか尋ねるものであります。

浜田地域の渇水期における水田の水不足は、地元農業者を相も変わらず苦しめております。その浜田水田の一角にサーモンの中間育成の企業が進出し、今盛んに工事がなされておりますが、企業の進出は町にとっても願ってもないことであります。ある農家の男性は、泊川の水源利用であることから、であるならば長年苦しめられている我々農業者にも、水不足の解決策を示してもらいたい、切実に話しておりました。今ここの課題に真剣に取り組むことが必要ではないでしょうか。町長の決意を期待するものであります。

次に、漁業振興についてお尋ねいたします。

育てる漁業振興のため、岩館分港沖の消波堤延伸工事については、予算獲得のために要望活動が積極的になされてきました。先月の県山本振興局との意見交換をなされた際にも、早期完成に向け要望されており、県では2014年の完了を目指していると述べております。

この海域の海底調査自体、どう分析しているのでしょうか。漁業者に聞くと、皆開口

一番、砂ならまだしもヘドロが堆積がすごいことになっている。今までアワビがいた場所も海藻もなく、全くいないと話しております。今さら私がこの事業に異論を唱えたところで、こうお思いでしょうが、これだけ住民の不安というものがあることを耳にした以上は、私は公の場での議論というのは必要だろうと、このように考えます。この自体、実態をどう分析・把握しているのか尋ねるものであります。

次に、観光振興についてであります。御所の台エリアの再構築構想についてはどこまで進んでいるのか。どのように進めていくつもりなのか尋ねるものであります。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 休憩いたします。午後1時より再開し、当局の答弁をお願いします。

午前 11時46分 休 憩

午後 1時00分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

さきの6番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 答弁に先立ちまして、先ほどご質問の中で菊地議員から過大な評価をしていただきました。心から感謝を申し上げます。私の残りの任期、約2年となりましたけれども、初心を忘れず、町政発展に全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

それでは、答弁に入ります。

菊地議員のご質問にお答えいたします。

はじめに、「持続可能なまちづくりについて」であります。

町の財政状況については、経常収支比率が平成28年度以降、90%を超える状況が続いているほか、実質単年度収支は、令和元年度以降、令和3年度を除き赤字となっており、財政調整基金の取り崩しに依存した運営が常態化しております。

議員ご承知のとおり、高い経常収支比率は、政策的な経費に充当できる一般財源に余裕がないということであり、まずは財政基盤を安定させる必要があることから、今年度から、企画財政課から財政部門を切り離し、単独で財政課を設置し、財政の健全化に集中的に取り組んでいるところであります。

また、効率的な財政運営に努めるには、行政と民間が連携し、民間資金を活用する手

法を取り入れることも必要であると考え、旧峰浜庁舎跡地に設置している定住促進住宅においては、この手法を取り入れて進めております。

さらに、洋上風力関係においては、本町沖の発電事業者である「合同会社八峰能代沖洋上風力」と地域貢献策について協議しているほか、今後は、「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」においても、大手商社と連携した取り組みを進めていくことが重要であると考えております。

一方、持続可能なまちづくりにつきましては、財政の健全化と併せ、人口減少をはじめとする諸課題の克服や産業の発展と成長が重要であると捉えており、とりわけ、町の基幹産業である「農林水産業の発展なくして、町の発展はない」ものと考えております。

このため、町の農水産物の販路拡大は不可欠であり、国内のみならず海外展開も視野に入れた取り組みを進めるほか、農林水産業全般において、担い手の確保や所得の向上を目指す取り組みが重要であることから、農産物のブランド化やサーモン等の養殖事業を一層強化し、儲かる農林水産業を進めながら持続可能なまちづくりを進めてまいります。

次に、産業振興についてであります。

はじめに、昨年の豪雨災害からの農地の復旧状況についてであります。大雨により被災した農地の災害査定箇所は60件あり、それを14工区に分けて順次発注しているところであります。

また、8月末時点における進捗状況は、完成が2か所、施工中が4か所であり、残りの8か所については未着手の状況となっております。

こうした状況は受注業者の技術者不足等が主な要因と考えますが、町としましても、引き続き県や地元建設業協会等と情報共有を行いながら、早期復旧に向けて取り組みを加速してまいります。

次に、浜田地区の水田の水不足対策であります。

当該地区における水田への用水の供給源は、本館頭首工及び沢水であります。昨年の豪雨災害により幹線水路が被災していることから、今年はこれまで以上に水量が不足している状況にあります。

一方で、サーモン養殖に要する用水は、泊川下流の代頭頭首工の水を利用しておりますが、これまで当該頭首工を利用していた水田は全てサーモン養殖の用地となっていることから、浜田地区の水田に対し、直接の影響はないものと考えております。

しかしながら、浜田地区全体における水田の水不足は認識していることから、圃場整備事業を含めた抜本的な対策を、引き続き検討してまいりたいと考えております。

次に、岩館分港沖の防波堤延伸工事についてであります。

当該事業の実施主体である県によりますと、既存の防波堤の背後や延伸を予定している消波堤の周辺、漂砂の要因と想定される小入川河口の砂州など、7地点において、採泥採取と分析及び水中ドローンを活用した海底調査を行っていると考えております。

中間報告では、北防波堤の背後に堆積土を確認し採取を行っておりますが、今回延伸する沖防波堤においては、堆積土を確認していないほか、水中ドローンの撮影においてもヘドロがないと聞いております。

このため、堤防の延伸により環境が悪化することは現時点において考えておりませんが、引き続き、事業実施主体である県と連絡調整を行ってまいります。

次に、「御所の台エリアの再構築構想」についてであります。

本構想については、議員の皆様は昨年5月の議会全員協議会において、エリア全体の将来イメージ図をお示ししたところでありますが、本構想の将来像は、白神山地の豊かな恵みを生かした交流ターミナルの創出を目指しており、ハタハタ館を中心に、あきた白神駅やあきた白神体験センターなどの既存観光交流施設の有効活用に加えて、民間企業のタイアップによる新たな開発事業との連携により、地域の産業振興や地域活性化を図りながら、多様なニーズに対応していく内容となっております。

また、本構想における具体的な動きにつきましては、御所の台エリアの魅力を最大限生かした事業推進を図るため、重要となってくるタイアップ企業への情報共有を最優先で行っているところであり、今年5月に開催された「洋上風力発電を契機とした秋田の未来づくり会議」の場において、本構想の推進に関して、観光の再開発等に精通した専門家を紹介してほしいとお願いしたところであります。

その後、当町沖の洋上風力発電事業者でありますエネオス・リニューアブルエナジー社や関連商社、地元金融機関などから問い合わせをいただき、各社に対して町としての考えをお伝えし、現地を確認していただくなど、更なる構想の進展に向けて取り組んでおります。

具体的には、もう少し時間を要すると思いますが、引き続き北東北を代表する観光拠点を目指し、私自身アンテナを高く張りつつ、各方面の関係者に働きかけながら事業を進めてまいります。

以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、再質問ありませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 最初の質問でありますけれども、昨年12月にもですね、私、財政絡みでこの種の質問をしてるんですね。これは予算を策定に向けての議会でありましたので質問しました。同じように大変厳しい財政状況は指摘されまして、今後どうするのかと思った時、省庁再編あった時にですね、財政課、新たに分離するということで、私はこれ本当に覚悟がうかがえると、このように思いました。企画政策、今、財政も含めてでありましたが、今後はですね企画政策名のもとに、正に企画立案、思い切ったアイデアをどんどん出していただいて、そして財政課はそれを資金管理をお願いしたいということですので、是非ともそういう方向で頑張ってもらいたいと思います。財調関連で今後の5年間、シミュレーションを出していることを伺いましたので、できましたらそれを示していただきたい、このように思います。

人口減少という中での様々な対策ですので、まず英断をもって頑張ってもらいたい。いま一度どうですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 先ほど答弁の中でも少し触れましたけれども、この4月から組織改編ということで財政課を単独課といたしました。実は私、町長なってからずっと思ったのが、やはり企画財政課であると課長が予算を要求する、そしてまた査定をするということで、同じ人が同じことを、違うことをやんなきゃいけないというような状況を何とか改善したいというふうな思いもありました。そしてまた、先ほど議員からもありましたとおり、かなり財調に依存した財政が続いておりましたので、これを脱却しなきゃいけないという思いもありまして、このたび財政課を単独で作ったところでございます。

いずれ、私、様々な場面で言っておりますけれども、この財政状況を健全化させないですね、新たな政策も打てないと。ご質問の中でありました堀内カラーを出せないというふうなところもありますので、引き続きですね財政状況、厳しい状況でありますけれども、しっかりと健全化に向けて取り組みながら、私の色をしっかりと出していきたいというふうに思っております。よろしく申し上げます。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、再質問ありませんか。

○6番（菊地 薫君） 1番終わります。

○議長（皆川鉄也君） 続いて2番目の質問について再質問ございませんか。6番菊地

薫君。

○6番（菊地 薫君） 大雨の状況、災害は今伺いました。これまあ突然の災害で、このような状況を鑑みればですね、まあ何をしているんだとも、これも言えないような状況ですので、引き続きそれを頑張っていたきたい、このように思います。

そして、その次ですねサーモン養殖企業、町内に進出した。浜田地区の水不足ですが、これ私も長いこと議員やっていますが、昔からの課題で解決できないでいる。地域の耕作者にすれば、まあ本館地域の余り水をもって俺たち田んぼ作ってるんだと、こういう言い方もするんですね。そういう状況の中で今、今日あるわけですが、やはり従来どおり検討しているとは今答弁されましたけれども、やはり人が変わる、体制が変わる、なってくればですね、もちろん県であれどこであれ相手も国も変わっていきます。やはり改めてまたね力を入れて活動しないと、同じように私たちも見てしまいますよ。何してるんだということ。それはやはり地域のね農業者の声聞けば切実なんですよ。そういうことで、いま一度ですね、この解決策に向かってですね取り組みを加速していただきたい。

町長のこれお膝元ですよ、浜田。八森地域に議員もいないんです。私ども地域の課題を町行政に届ける使命を持ってるんだけど、浜田の方々にすれば、まあ誰でも要望はできますけどね、なかなかやはり気軽に、地域の議員がいないことでなかなか言いにくい、届けにくいという面もありますので、どうかその点ひとつ。我が地域の何としてもやり遂げなければならないという決意をもって頑張っていたきたい。どうですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 正に私の地元でございますけれども、やはりですね抜本的な改修ということを考えますと、やはり圃場整備が何としても必要だと私は思っております。圃場整備というのは単純に区画を拡大するだけではなく、やはり用排水路のコンクリートフリームを入れたり、あるいは当然ながら水源の確保、これがしっかりと考えられた上で整備するものですから、例えば今回のように浜田地区においては水が足りないよねとなれば、圃場整備事業として、じゃあため池を造りましょうとか、あるいは頭首工を造って安定的な水の供給をやりましょうと、そういったことが可能となりますので、そしてまた浜田地区は比較的平面、あまり段差がないといいますか、そういった地形でございますので、かなり工事はしやすいんだらうというふうに私は捉えております。したがって、既にですね地域の方にアンケート調査を行って、圃場整備の賛成、ある

いは不安があるんであればどういったことがあるのか、そういった調査を既に行っているところでございますので、こういった調査をですね、しっかりと取りまとめた上で、是非とも圃場整備事業実現に向けてですね取り組んでいきたいと思っております。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ありませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） その圃場整備がなかなかできない。そこまでこぎつけられない。同意がなかなか一本にならないという課題なんですよ、これ。従来から。まあそれ無理難題を私が伺っているということになるんだけど、その部分を何とかして解決に持っていく方向性をつける、そういうことを希望するんです。そういうことで何とかひとつ頑張っていたきたい。

今、その地域活性なるんですが、ひとたび足が降ればですね、逆に今度水はけが悪い。結構あの細い川、新川あたりあるんだけど、丁字路にぶつかって跳ね返るんです、水が。もうちょっとRでもつけてね、やはり流れをよくすれば、そうでもないと思うんだけど、まあそれただ一点、私、考えとして申し述べておきます。

それと、もう一点、ひとつ非常に気になるものがありまして、サーモン養殖の中間育成の業者であります。まあ先ほど述べたように大変企業として町に来てくれる、ありがたいことでもあります。

実はですね、私、商売柄いろんなお客さんを相手にするんですが、茨城の常陸から溪流釣りに来ます。魚釣り。先だって来たんですよ。その方々もう十何年来てます。先なってる人は40年来てると言ってます。ほとんど青森県側でやってるんですね。それで、いやあ魚何もいねなくなったって言うんですよ。そうしたら、まあ伺ったところ、実は日本ファームさんのあそこは大峰川、白神川か、2か所あります。その上流にいくと全く魚がない。どういうことなんだということで聞きましたら、まずその周辺で臭いがある。まずね。これまた又聞きして私しゃべるんだから、そういう思いでまず聞いてください。ですから、いやあ、その企業、今、町に来るんであれば大変でしょうという思いで私もずっと伺いました。そうして、私、松神というところに個人的に知り合いいるもんで電話したら、いやあ初耳だなと、何もそういう話聞いたことねえよと言うんですよ。おお、せばこれまた軽々にもものも言えないなと思ひまして、結局その排水はもう全く海岸近くの道路沿いのところですから、魚が遡上しないんですね、それによって。だから上流に魚がないって言うんですよ。まあそういう経緯も伺いましたけど、実は昨日ですね、どうも気になって私、5時、まあ夕方行ったんですよ。手前の白神川は、

今、災害あって工事もしましたから全くもって分からない状況でした。ただ排水は大量に流れてました。それで次の行ったその大峰川の橋に行ったら、何かぷーんと臭いするんですよ。その橋から50メートル、70メートル上流だと思います、排水口は。大量に流れてました。ただそこにいて、ずっと継続的に臭いがするのかなと思えばまたそうでもなくて、ただですね、こういう私が懸念を示すようなことが今、泊川で発生したと、もしもですよ、するとするならば、これ大変なことだなと思って、あえて今ここで私取り上げてるんだけど、まあ泊川、県管理ですから、なかなか町とも業者ともどこまで審議の過程にあるのかそれは分かりませんが、議会に示したあの進出に当たっての様々な資料あります。あれを見ると、排水浄化の機能もちゃんと説明してありました。確かにいいんです。それが新しいものなにか旧式なのか、従来のものなのか、それは分かりませんが、その部分をですね徹底的に強力で申し入れてほしい。これはやはりですね大変な問題ですよ。深浦町の方は民家ないんですよ、周辺に。泊川あのおりでしょう。もちろん排水が異常あれば、リーフにつくカキの問題も出てくる。漁業の問題も出てくる。そういうことですね、それを徹底して、今聞いたことを。まず確認が大事だと思いますので、確認も含めて、そうでなくてもその部分は強力で進めてほしい。お願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 今、議員からご指摘のありました事項につきましては、しっかりと私の方から日本サーモンファームさんにお伝えしたいと思います。

ただですね、私ちょっと出なかったんですけども、サーモンファームさんが浜田地区の住民に対して説明会を行っております。確かですね、その中でもその臭いに対する不安は確か意見として出てたと思いますので、そういったところも含めて多分サーモンファームさんはやってくれると思いますけども、改めまして町としてもそうした意見をですね相手方に対して言っていきたいと思います。

そして1点、泊川、先ほど議員の方から県管理というお話がありましたけども、普通河川で町で管理しております。よろしくお願いします。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ございませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 次の静穏域の防波堤の建設でありますけれども、私、こういう質問をしてですね、町、特に町長は大変困ったと思うんです。今さらね、このような課題といいますか、うん、どうすんだということを町長に申し上げてみたところで、大変失

礼だけど、この事業がもうね県で行う、14年度にこれを完成させるという、そこまで明言してる中で、後退させるようなことをです私言いたくない、なかったんです。ただ、先ほど浜田のような問題で、漁業者から、あそこは非常に昔からアワビのとれるところだったそうです。現在の200メートル離岸堤が造った段階から現在のようになってるんですよ。だからこの次の離岸堤を造っても何ともないという、町長述べたけども、調査の過程もあるでしょうけども、そういうことは私はならないと、マイナスにならなくてもプラスにはならないと私は思ってます。目的がサーモン養殖であれ何であれね。あそこの今の離岸堤の内側半分以上なんですよ、聞いたところ。それが砂、ヘドロ状態。そこに海藻も一つもない。アワビいるわけないですよ。そっから沖合に離岸堤までの間にサーモン養殖をやろうとしてる。これから延伸するところにやろうとしてるんでありましょけれども、この事業がね失敗すると大変なこと私なると思うんです。そういう思いであえて私、今回挙げたわけですが、実態というものをどの程度把握しているかということをおね、私伺いたい。住民がこれを大変だ、困ったなど言いながら、どこに声を上げることもできないで黙ってるんであれば、私は議会に届けますよって。これは何としてもね住民の意見として残していただきたいというのが私の思いで、今、一般質問に立ってるんですよ。ですから、担当としてどこまで把握してるのか。その辺をまず私は確認したいんです。どうですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内農林水産課長。

○農林水産課長（堀内和人君） 菊地議員のご質問にお答えいたします。

町長の答弁でもありましたとおり、まだ中間の報告までしか受けておりません。なので、詳しい報告はまだ調査結果上がってきておりませんので、今現状としましては町長の答弁にありましたとおり、ヘドロは確認されていないという状況しかまだ把握できておりません。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ありますか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 県が調査するから公式なね、その調査資料が来てないっていう説明なんだけども、そうでなくて、担当課として足を運んで出向いて意見を伺って、いや、こうであったのかくらいはあるでしょうよ。事務的な処理しかないでしょう、そういう話すれば。だから何でも縦割りでどんどんどん決められてくれば、一般住民からこ

うやって届かないんですよ。やはりその辺はね、やはりまあ役場の職員として住民の声を聞く際にどうであったかなくらはね行って確認しないと。確認してください。私、何名も聞きましたよ。同じ答えですよ。それを県がどういう調査結果出してくるか。それは分かりません。もちろん来た際には、当然我々議会にも示してほしいし、その部分をまず約束していただいて。いいですか、どうですか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 私も先ほど答弁で、県の事業なんでという答弁をしてしまいましたけれども、事業自体は県でございませけれども、もう我々としてもですね地元というところで、しっかりとですね、その情報を取りに行つて、議員の皆さんはもちろん、町民の皆様にはですね、しっかりと示すことができるような形で出したいなというふうに思っております。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ございせんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） まず是非ですね、やっぱり住民の声に沿ったやはり動きというものを是非ともしていただきたいと思ひます。

それと、ハタハタ館周辺の開発でありますけれども、町長、様々な大きな民間の企業述べられました。そこまで話が届いているのかと、まあ思つてね、今ちょっと今、多少安堵したわけですが、ただでない事業だと思ひんですよ、事業者から見て。まあ北東北の拠点を目指すような説明を町長されてますが、国道であつても幹線でもない。ローカル国道ですよ。そこに集客する。やはり確かににぎわいは創出したいけれども、身の丈に合つたね、そういう状況が当然出てくると思ひんですよ。無理難題。造つたのはいいが、あそこは遊んで何も死んでる。それでは困るわけで、当然やはり核となる部分は道の駅化をするハタハタ館なんですよね。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） ハタハタ館に限らずですね、ちょっとエリア全体を私ちょっと考えているところがございますので、ちょっと一概にそのハタハタ館がメインでっていうことではございせんので、ご理解していただければと思ひます。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございせんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） 道の駅をハタハタ館に持つてくる、そういう状況の中で、まあここ数年、前町長からこう動きがあつたわけなんです。それが堀内さんがそれこそまたコ

ンサルの計画を先延ばししても作り替えたという、そういう思いですが、そのとおりですよね。

- 議長（皆川鉄也君） ただいまの6番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。
- 町長（堀内満也君） 私が町長に就任してもうすぐに、もう事業が動いておりましたので、その中間報告といいますか、現時点の成果はこんなイメージしてますというような報告を受けました。その時ですね持ってきたのが、ハタハタ館をベースとしてコンビニを造って、あとはもう道の駅化にして終わりますみたいなそんな絵だったので、ちょっとこれでは、せっかく金をかけんののに、これで駄目になった道の駅が相当あってですね、私も県の道路課時代に道の駅の担当でしたけども、かなり失敗しているところも見てきておりますので、これでは駄目だということで工期を先延ばししてですね、やはりちょっと夢ある絵を描きたいというところで、昨年5月にお示ししたようなものを作ったところでございます。

いずれですね、そういったところもありまして少し形は変わってしまいましたけれども、それを実現するためにですね、今、いろんな事業者さんと協議しているところがございますので、具体的なところはもう少し待っていただければなと思っております。

- 議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ありますか。6番菊地 薫君。
- 6番（菊地 薫君） 今の町長の答弁、まだまだ先のようでありますので。計画の資料見ますと4年間ということになってます。それは変わらないわけですか。
- 議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。
- 町長（堀内満也君） ちょっと休憩をお願いします。
- 議長（皆川鉄也君） 休憩いたします。

午後 1時31分 休 憩

午後 1時31分 再 開

- 議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き一般質問を行います。
- 当局の答弁を求めます。堀内町長。
- 町長（堀内満也君） 4年というのはですね、事業着手から概ね4年ぐらしかかるだろうというところがございます、まだ事業化してないところがございますから、今から4年ではなくて、事業着手から4年というところがございます。
- 以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） そうなんです。それはそれでいいんですよ。今の段階で着手なんかできる状況ではないです。

それで、まああの周辺というのは、ハタハタ館がね核として動いてる集客の拠点ですよ。そしてやはりハタハタ館の運営自体、様々な状況というのはやはり常にテーブルに上がるし、危惧してるんです。町で大枚の指定管理料出しました。しかしながら、決算、今700万円しか出てないんですよ。そういう状況の中で今後それでいいのかなと思った際に、内部の飲食関係、あるいは仕出しというかな、宴会関係含めて500万円くらい赤字なってます。レストラン部分のフル稼働というのが全くされない。観光客、あるいは道の駅、こっちに足を運んだ人は、昼飯どこで食おうかな。まあ行けば、そこさ行けば何とかなっぺって来るんですよ。どはちさんも火曜・水曜休み。ハタハタ館も火曜・水曜、レストランも休み。これはね大変なやはりお客さんに迷惑かけてますよ。ひとたび聞けば、人手不足ね。かけても人が来ない。それでね何年も経ったってしょうがないでしょう、これ。身近にやりとりするのが、ただ風呂に入る銭湯とは違うんだからね。飯を食えるところはやっぱり必要なの。夜遅くまでと言わないよ。夕方ぐらいに飯食えるまでやれないかなと思うんですよ。これハタハタ館の話聞けば、町長が、いや社長でありながら、前、私断られたことあるけど。そういう状況は皆思ってますよ。何かその辺をね、やっぱり館に対するやはり社長として指示・指導。あのレストラン部分を例えば、あれだけの面積でなくて、当然厨房は上に上げるから必要ですよ。ただ、蕎麦なりラーメンなり何かね、一角をね民間でもいい、じゃあ誰来るって言わあじやって言うかもしれないけども、民間でもいい。テナント的にして飯くらい食わせる。蕎麦くらい食わせる。それくらいのやはり改善をしていかないと、魅力がないね。ホテル部門が好調だからって、そういう部分でないがしろにすれば駄目ですよ。どうですか、私の今、私の意見。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 議員おっしゃるとおりだと思っております。私も、ここは町長として言いますけれども、しっかりとですね指定管理者であるハタハタの里観光事業株式会社の方には、そのことを伝えていきたいというふうに思っております。

○議長（皆川鉄也君） 6番議員、ほかに質問ございませんか。6番菊地 薫君。

○6番（菊地 薫君） まあいろいろ申し上げましたけれども、やはり当然ですね、まあ

南部からいけばポンポコ山周辺のあの開発はもちろん大事ですが、やはりどうしてもハタハタ館を核としたあのエリアなると思いますので、来た人がですね少しでも満足するような、良かったなというぐらいのね施設運営をしていかないといけないと思いますので、以上を申し上げて質問を終わります。答弁は結構です。

○議長（皆川鉄也君） これで6番議員の一般質問を終了します。

これで本日の日程は全部終了いたしました。

本日の会議を閉じます。

なお、次回の本会議は、13日午前10時より開会し、議案審議を行います。

これにて散会いたします。ご苦労様でした。

---

午後 1時37分 散 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 皆川 鉄也

同 署名議員 9番 須藤 正人

同 署名議員 10番 門脇 直樹

同 署名議員 11番 山本 優人

